

ボランティアさん&司書おすすめの本

残念ながら新型コロナウイルス対策のため10月の行事は全て中止となりました。今月はボランティアさんと司書おすすめの本を紹介します！



とばた
あやめ

- 「しゅくだい」宗正美子 原案、いもとようこ 文・絵 岩崎書店
- 「おへそのあな」 著者 長谷川義史、出版社 BL 出版



「お子さんをきっと抱きしめたくなる本だと思います。」
(読み聞かせボランティア おはなし玉手箱さんより)



■「赤い目のドラゴン」

著者 アストリッド・リンドグレーン、出版社 岩波書店



子ぶたの赤ちゃんと一緒にドラゴンが産まれました。わたしと弟ははじめびっくりしますが、ドラゴンの世話をするうちに、だんだんとドラゴンのことが好きになっていきました。ドラゴンも私たちのことを好きになってくれているようでした。ある十二月の夕暮れ、ドラゴンと私たちは野原にいましたが、その夕暮れの中、なぜかドラゴンは目に涙を浮かべていました……。別れの時が近づいていたのです。

ラストシーンがとても美しい奇跡のような絵本です。

■「やっぱりおおかみ」

著者 佐々木マキ、出版社 福音館書店



絶滅したはずのおおかみですが、じつは一匹だけ生き残っていました。最初、彼は街で自分に似た子を探します。でもそんな子はいないどころか、みんな、おおかみを見て逃げていきます。他の子は仲間たちと楽しそうです。家をのぞくと家族団らんの風景が広がっています。おおかみは言います。「け」っと。そして彼は一つの結論にたどり着きます。その結論がどんなに深いものだから、読んでからの楽しみです。

■「あおい目のこねこ」

著者 エゴン・マチャーセン、出版社 福音館書店



青い目をしているせいで仲間のねこたちに相手にされないこねこが主人公。でもこねこはちっともへこたれず、「なーに、こんなこと、なんでもないや」といつも前向きです。落ち込んだ時、沈んだ時に読むとすごく元気がもらえます。なにしろこねこは「おもしろいことをしてみよう。なんにもなくても、げんきでいなくちゃいけないもの」と言ってくれているのですから。

NO 259

2020年10月1日

戸畑図書館・児童室

☎871-3464

今月のおやすみ

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■はおやすみです。